

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部農政企画局 課長（農業経営担当）	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	課長 世古 静 夫 （皆木 治 男）	内線	3929 （3944）
------	--------------------------	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	経営構造対策 事業	事業名	事業区 間	総事業費	約 1 億円
		経営構造対策事業	岩岡西地区	内用地補償費	- 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予 定 度	完成予 定 度
神戸市西区岩岡町上新地・秋田			H 1 6	H 1 6	H 1 6
事業目的			事業内容		
<p>岩岡地域では水稲と野菜の複合経営が展開されているが、さらに、安定生産が可能な園芸施設を導入し、経営の安定確保、及び野菜産地としての維持・拡大を図り、担い手となる経営体の確保・育成を図る。</p> <p>事業主体：J A兵庫六甲 岩岡西生産組合</p>			<p>複合経営促進施設（パイハウス） 41 棟 10,269 m² （国 50%、県 0%、地元 50%） 事業主体：J A兵庫六甲</p> <p>用排水整備 U字溝 556 m （国 50% 県 14% 地元 36%） 事業主体：岩岡西生産組合</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>岩岡地域では優良農地を背景にキャベツ、トマト、軟弱野菜等を中心に多様な農業が展開されているが、一層の地域農業発展のため、J A兵庫六甲は、地域の特産物づくりと野菜産地化の推進、直売所と連携した組織の強化・育成 神戸市は 認定農業者の育成と軟弱野菜の産地化 を目標に農業施策の展開を行っている。</p> <p>上記目標達成のためには、生産環境制御が容易で、天候に左右されない周年栽培、品質の高い農産物の生産が可能となる複合経営促進施設を導入する必要がある。</p> <p>また、小松菜等軟弱野菜の産地化については、計画的に施設整備（平成 15 年度に岩岡東地区 83 棟、26,000 m²）を行っており、今回、岩岡西地区において施設を導入することにより、岩岡地域全体の産地形成が図ることとなり、本事業の導入の必要性は高い。</p> <p>関係農業者（7名）の意欲は高く、岩岡地域における軟弱野菜の産地化が期待できる。</p>				
(2)有効性・効率性	<p>・事業実施により次の効果が期待できる。</p> <p>農産物作付け増：3.4 ha の増・17 百万円/年の所得増 認定農業者の育成：現況 7 人 目標 9 人 新たな雇用の創出：4 人 ・費用便益比： B / C = 1 . 5 2</p>				
(3)環境適合性	<p>・防虫ネット、太陽熱土壌消毒等により農薬の使用量を削減し、周辺環境への負荷を軽減する。</p>				
(4)優先性	<p>岩岡地域全体の農業の維持発展を図るため、平成 15 年度から多様な消費者需要に対応した産地化及び生産の安定・農業収益の向上等を計画的に進めており（岩岡東地区）、その計画に沿った施設導入を行うものであり、用地等地域の協力体制も整っている。</p>				